

# DECISION

Protest

Request No.: 05

Event: 2022 全日本学生ヨット選手権大会 87th ALL Japan Intercollegiate Sailing Championship Race Number: 1  
Hearing Schedule: 2022-11-03 18:30

## PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 05: 国際470級 - 国際470級 - JPN 4472 - 45 - 金沢大学 長谷川樹

国際470級 - 国際470級 - JPN 4783 - 28 - 神奈川大学 中濱 光祐

## VALIDITY

**Objection to Jury:** No

**Within Time Limit:** Within Time Limit

**Incident Identified:** Yes

**Proper Hail:** Protest hailed

**Red Flag Displayed:** Not required

**Decision:** Request Valid

## PROCEDURAL MATTERS

### FACTS FOUND

470級第1レースのコースO2の第5レグ

風速3m/s,波高30cm

艇45と艇28はスターボードタックのランニングで帆走しており、艇28は艇45の風上にオーバーラップしていた。

両艇はオーバーラップを維持したまま、3Pマークのゾーンに到達し、

この時、艇45の内側に別の2艇がオーバーラップしていた。

4艇は3Pマークと同じ高さになった時にポートタックにジャイブし、その時のそれぞれの艇間は半艇幅であった。

4艇はオーバーラップを維持したままマークを回航し、

この時、艇45のスターボード側のスタン付近のガンネルと艇28のポート側のマスト付近のガンネルが接触した。

さらに、艇45はポート側のマスト付近のガンネルと、内側艇のブームの先端から1/3が接触した。

すべての艇に損傷または傷害はなかった。

いずれの艇もペナルティを履行していない。



0.jpg 26 KB

緑：艇45  
黄：艇28

**Diagram:** Protest Committee diagram attached

#### CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 18.2(b)

1. ゾーンで艇45の外側にオーバーラップした艇28は艇45にマークルームを与えなかったので、RRS 18.2(b)に違反した。
2. 艇45は内側艇にマークルームを与えなかったが、艇28の規則違反によって強いられたものであるため、艇45のRRS18.2(b)の違反は、RRS43.1(a)により免罪される。
3. 艇45は艇28と接触したが、得る資格のあるマークルーム内を帆走しており、艇28がマークルームを与えないことが明らかになった時から、接触を回避することは常識的に可能ではなかったので、RRS14に違反していない。

#### DECISION

第1レースにおいて、艇28をDSQとする。

Date & Time: 2022-11-03 19:27 JST

#### PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Hirofumi Fujii (JPN)

Committee Members: Kiyokazu Kuraishi (JPN), Takeshi Hosokawa (JPN)